

平成20年5月1日

平成20年度 稲荷小学校

学校評価年間計画表

1. 学校評価の目的

学校評価とは、単に外部に向けた説明責任のみでなく、学校教育の計画・実行・評価にのっとった一連の組織的な活動の評価を行うものである。そのことで、個々の教職員は自己の教育活動を振り返り、次の活動をより良いものに改善するという努力や方策が要請されことになり、これが自己の資質向上に役立てることができる。このように、点検・評価すれば終わりではなく、教育活動の改善に結びつく積極的な活用を生み出すことが大切である。また、『自己評価』と『外部評価』の相互作用の中で教育活動の充実・向上を図ることも重要である。

・自己評価

- ① 『学校教育目標』の実現を目指す。
- ② 『計画・実践・評価・見直し』による継続的かつ迅速な取組の充実・向上を図る。
- ③ 公教育としての説明責任と行為責任を明確にする。
- ④ より良い教育環境を作り上げる。

・外部評価

- ① 『自己評価』に客観性をもたせる。
- ② 学校・家庭・地域の役割を明確にし、双方向の連携による教育の充実を目指す。
- ③ より良い教育環境を作り上げる。

2. 評価対象

- ① 教育課程の編成とその実施状況（教育目標、教育課程など）
- ② 家庭・地域や関係諸機関との連携
- ③ 校務分掌や校内研修・研究
- ④ 予算編成や執行、施設・設備の管理

3. 評価方法などについて

- ① 各校務分掌ごとに評価項目の点検を行い，評価委員会に提出する。
- ② 全教職員が記名し，自己評価を行う。
- ③ 集計を行い，関係部分について話し合い，職員会議に提出する。
- ④ 職員会議や研修会で検討し，充実・改善の手立てを共通理解する。
- ⑤ 学校評価の結果を保護者・地域に発信する。

◎『外部評価』についても，参観日や行事，PTA企画委員会・学校運営協議会などで，『自己評価』の方法にそって進める。

4. 『自己評価表』『外部評価表』を作成する。

5. 評価の表記方法

- ・『自己評価』…4段階とし，該当に○をし，改善点を記入する。

| | |
|----------|---------|
| できている | ほぼできている |
| ややできていない | できていない |

- ・『外部評価』…「満足している」「ほぼ満足している」「やや満足できない」「不満足である」の4段階とし，該当に○をする。

平成20年度 学校評価年間計画

| | 評価の検討と実施 | 学校運営委員会 | 公表の時期と方法 |
|-----|--|--------------------------|-------------------|
| 4月 | 教育指導計画書の作成 学校評価の実施に向けた企画 評価項目の検討 | | 学校便り（教育方針発信） |
| 5月 | | 第1回開催 学校教育方針の説明 | |
| 6月 | 学校教育方針・研究等について説明（日曜参観） | | 評価年間計画をHPに公表 |
| 7月 | 児童・保護者アンケート 地域の方へのアンケート 自己評価の実施 | | |
| 8月 | 評価結果の分析 後期方針の検討 | 第2回開催 学校運営協議会による評価の実施 | |
| 9月 | | | 学校便り・HPで結果・改善を公表 |
| 10月 | | | |
| 11月 | | | |
| 12月 | 児童・保護者アンケート 地域の方へのアンケート 自己評価の実施 | | |
| 1月 | 評価結果の分析・改善策の検討 | | |
| 2月 | 研究報告会参加者アンケート | 第3回開催 評価の実施 | 学校便り・HPで結果・改善策を公表 |
| 3月 | 次年度の方針の共通理解 | 第4回開催 次年度の方針を説明 | |